

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



| | |
|------------------|--|
| 1. 負傷事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット事例 |
| 2. 体験した事例の名称 | 災害現場から帰署し、車両整備中に起きた事案 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 災害現場より帰署し、車両が雨に濡れたので屋根部の水滴を拭きとるため、キャビン屋根部に足を乗せた際、滑って転落しそうになった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 災害現場から帰署し気が抜けた際の出来事であり、拭き取る部分のみに気を取られ注意を怠った。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|--------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。 |
|------------------|--------------|

【体験した事例について】



| | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 18 年 7 月 23 日 午前 10 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 雨 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋内：車庫内 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 |
| 5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | 墜落・転落、 |
| 7. 事例体験時の活動 | その他： [] |
| 8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか | その他：災害現場から戻ってきた際の出来事 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 1年に数度程度の割合で体験している。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[30]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[13]年、階級[消防士長]、同様の活動 []、任務 [機関員] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|------------------------|----------|
| 経過1 | 当事者A | 車両整備の際、足を滑らして転落しそうになった | |
| 経過2 | | | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



- 負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思いか？
ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | はい |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい |
| ・ 足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|---------------------|
| はい：現場から帰署し、気が抜けていた。 |
|---------------------|